

あなたに届ける議会のホットニュース

うれしの 市議会だより

U R E S H I N O

No.62

令和3年
7月28日発行

6月
議会の
ニュースの
とびら

補正予算の中身

新型コロナウイルス感染症対策の「子育て世帯生活支援特別給付金」他の概要
.....P2~6

議案の賛否どうなった

それぞれの議案に対する
賛否表.....P7

活発な一般質問

13名の議員が執行部と政策
論争をくり広げました
.....P8~16

政務活動費の実績報告

令和2年度の政務活動費の実
績を報告.....P17

委員会レポート

各委員会の活動報告
.....P18~19

ときの人

嬉野高校生、介護技術で
最優秀賞.....P20

秋の豊作を願いながらの農作業

発行：嬉野市議会 編集：議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地 TEL: 0954-66-9127 FAX: 0954-66-2887

一般会計 総額で189億5030万円に

令和3年第2回嬉野市議会定例会は6月4日に招集され、6月22日まで19日間の日程で開催されました。

提案された議案は、一般会計予算継続費繰越計算書（P3掲載）等の報告5件、専決処分の承認を求めるもの3件、条例の一部改正5件、令和3年度補正予算2件、農業委員会委員の任命に関する議会の同意を求めるもの14件が上程され、他に議員発議で嬉野市議会委員会条例の一部を改正する条例1件は初日に

先議表決を行い、全会一致で可決しました。

また、6月15日に補正予算1件が追加提案され、6月22日に全ての議案を可決しました。（賛否表はP7）

条例の一部改正では、固定資産評価審査委員会条例の一部改正を行い、申請書類の押印を不要とするものなどが上程されました。

補正の主なもの、新型コロナウイルス対策で、子育て世帯生活支援特別給付金事業に2555万円、コミュニティ助成事業（地

域防災組織育成事業などに907万円）学校保健特別対策事業（小学校に560万円、中学校に309万円）が計上されました。

補正後の総額は前年同期比7.8%減の189億5030万円となっています。

先議表決とは何？
緊急を要する議案について、あらかじめ予定された採決日によらず会期の途中で議決することを行います。

新型コロナウイルス対策で
子育て世帯生活支援特別給付金
コミュニティ助成事業
地域防災組織育成などに
1億1000万円を補正



▲子育て世帯に支援を

令和3年度への繰越事業の主なもの

コロナ禍の影響などさまざまな要因で今年度に繰り越した事業です（令和2年度分）

（一般会計）

項目	事業名	金額（単位：円）
総務費	ワーケーション環境整備事業	7,662,000
//	コンビニ交付サービス導入事業	8,360,000
民生費	保育対策総合支援事業	5,800,000
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	62,228,000
農林水産業費	産地パワーアップ事業	65,740,000
//	農村地域防災減災事業（河川応急）	150,797,000
//	基幹農道整備事業	24,800,000
商工費	観光周遊キャンペーン	15,015,000
土木費	社会資本整備総合交付金事業（市道調査・改良）	18,500,000
//	嬉野温泉駅周辺整備事業	64,838,000
消防費	緊急防災対策事業（避難所運営資機材）	9,240,000
教育費	体育館防災トイレ整備事業（久間小）	27,553,000
//	学校情報機器整備事業	37,730,000
//	換気扇等設置（塩田中）	12,100,000
災害復旧費	堆積土砂排除事業	18,000,000
//	災害等廃棄物処理事業	13,000,000

（特別会計） 嬉野市公共下水道事業費

項目	事業名	金額（単位：円）
事業費	公共下水道事業	38,479,000

（特別会計） 嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費

項目	事業名	金額（単位：円）
都市計画費	区画整理事業	33,341,000



▲待たれるコンビニ交付（利用開始は12月予定）

嬉野市手数料 条例の一部改正

理由 住民票の写し等の証明書のコンビニ交付サービスを開始するにあたり、条例の一部を改正する必要があります。また、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、同じく条例の一部を改正する必要があります。

解説 マイナンバーカードが必要で、これを使用して、住民票の写し等の証明書のコンビニ交付サービスを利用した場合には、手数料300円が250円となります。
注（全ての証明書がコンビニ交付の対象ではありません）ので確認が必要です。

嬉野市農業委員会の委員の 認定農業者過半要件の例外 規定の適用について

令和2年第4回定例会において、例外規定の適用について提案され、今回更なる規定と起用が提案されました。農業委員の選定はどのようになされているのか。
先の定例会で提案された内容は、農業委員会等

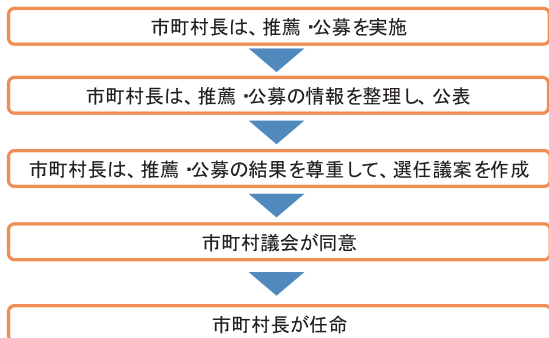
に関する法律で、農業委員の定数（13名）の過半数を認定農業者とするのと規定されており、市内における認定農業者が少ない場合については、例外規定として、認定農業者に準ずる者を加えて過半数となるよう提案さ

れておりました。

今議会では、令和3年3月1日から31日まで募集を行い、13名の推薦・応募があり、認定農業者が3名、準ずる者が1名の計4名でした。委員の過半数に届かなかったため、農業委員会に関する法律の規定により、定数の1/4以上の例外規定を適用させるために議会に同意を求めるものです。
選定については、定数どおりの推薦・応募であったため委員要件を確認し、議案第41号と53号の委員任命については議会が同意しました。
例外規定については、市独自の規定ではなく、法律に基づき、段階を経て議会に提案されています。

農業委員の選出方法

- 市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制一本とする。
- 過半を原則として認定農業者とする。
- 農業者以外の者で、中立な立場で公正な判断をできる者を認用上入れる。
- 女性・青年も積極的に登用する。
- 農業委員の定数は、委員会を機動的に開催できるよう、現行の半分程度とする。



▲農水省のHPより

コミュニティ助成事業

740万円

地域のコミュニティ活動に必要な備品の整備や集会施設建設等に必要経費を補助することにより、充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する事業です。

財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施し、事業の採択は同センターが行います。

今回は3地区が採択されました。



▲今後も伝承芸能継続を（令和元年度：今寺区 面浮立）

- 三坂区自治会 250万円（放送機器、倉庫、パソコン等の備品購入）
 - 依坂区自治会 250万円（パソコン、テレビ、倉庫等の備品購入）
 - 今寺区自治会 240万円（伝承芸能備品購入、修繕）
- 議会としては、この事業が末永く継続され、各自治会の要望が多く採択されることを望みます。

子育て世帯生活支援特別給付金 (その他世帯分) 給付事業

2555万円



▲子育て世帯への手厚い支援を

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯(ひとり親世帯分はP6に掲載)に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、児童一人当たり5万円が支給されます。(全額国庫負担)

4月分の児童手当又は特別児童扶養手当を受給される方で、令和3年度住民税が非課税の方が対象で、申請不要で支給されます。また、高校生のみ養育する方、又は令和3年4月1日以降に子どもが生まれた方など、4月分の児童手当又は特別児童扶養手当を受給されていない方で、令和3年度住民税非課税の方も対象で、申請手続きを経て支給されます。その他、18歳未満(障がい児の場合20歳未満)を養育する方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変し、住民税非課税相当の水準になった方も対象で、申請手続きを経て支給されます。申請期限は令和4年2月28日です。

空調設備設置

970万円

新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策として、吉田小学校1階の多目的室と嬉野中学校2階の多目的室にエアコンを設置します。これにより学校施設の環境整備が図られ、児童生徒の学習環境を保証することを目的とします。

財源としては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用します。

議会としては、年次計画で市内全小中学校の多目的室や特別教室の空調設備が整備され、教育環境が整っていくことを希望します。



▲設置予定の吉田小学校多目的室

子育て世帯生活支援特別 給付金（ひとり親世帯分）

1990万円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点か

ら、食費等による支出の増加の影響を勘案し、児童1人あたり5万円が支給されます。（全額国庫負担、4月8日専決処分）

4月分の児童扶養手当を受給される方が対象で、4月28日に既に支給済みです。

また、4月分の児童扶養手当は受給されていないが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変し、収入が児童扶養手当受給者と同じ水準になった方、また、公的年金等の受給により4月分の児童扶養手当を受給されていない方も対象で、申請により受給することができます。この場合の申請期限は令和4年2月28日です。

※詳しくは子育て未来課へご相談下さい。



▲ひとり親世帯へも手厚い支援を

新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金支給事業

905万円

社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特別貸付における総合支援資金の受給者で、再貸付の最終借入月が令和3年8月末までに到来する世帯、または、再貸付が不決定となった世帯を対象に、単身世帯は月6万円、2人世帯は月8万円、3人以上世帯は月10万円を、3ヶ月間支給されます。（全額国庫負担）

支給対象世帯は、収入要件や資産要件、求職活動等の一定の要件があります。申請期間は令和3

年7月1日から令和3年8月末までです。

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、就労による自立を図るための事業ですが、就労による自立、生活の維持が困難と見込まれる場合には生活保護の受給につなげるために、切れ目のない支援策として国が実施します。



▲事業を実施する社会福祉協議会窓口

13 議員が質問

森田 明彦 議員 (P8)

諸井 義人 議員 (P8)

芦塚 典子 議員 (P9)

川内 聖二 議員 (P10)

山下 芳郎 議員 (P10)

山口 卓也 議員 (P11)

辻 浩一 議員 (P12)

山口 虎太郎 議員 (P12)

諸上 栄大 議員 (P13)

山口 忠孝 議員 (P14)

増田 朝子 議員 (P14)

梶原 睦也 議員 (P15)

宮崎 良平 議員 (P16)

令和 3 年 6 月定例会議案賛否表 (主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号		議員															
		結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
議案第31号	専決処分(第1号)の承認を求めることについて(嬉野市税条例の一部を改正する条例について)	承認	14:0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和3年度嬉野市一般会計補正予算(第3号)	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	嬉野市農業委員会の委員の認定農業者過半要件の例外規定適用について	同意	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 第53号	嬉野市農業委員会の委員の任命について	同意	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	専決処分(第3号)の承認を求めることについて(令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))	承認	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和3年度嬉野市一般会計補正予算(第4号)	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会日程(案)

9月															
18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
休会	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	休会	休会	開会

10月					9月										
4日	3日	2日	1日	30日	29日	28日	27日	26日	25日	24日	23日	22日	21日	20日	19日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
討論・採決 閉会	休会	休会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	休会	休会	議案質疑	休会	議案質疑	討論・採決	休会	休会



嬉野地区学校プールは今後、どのような計画か

森田明彦議員

答 将来的には学校プールの集約化も検討する

電子図書館導入について

森田 様々な理由で来館出来ない人やコロナの影響で、パソコンやスマホで読める電子図書館が注目されている。市も導入を検討してはどうか。

市長 興味を持ってはいるが、読みづらいと言っている印象もある。ただ、将来的には取り組むべきだと考え、勉強していく。

湯けむり広場について

森田 旅行形態の変化に伴い、当初の役割は終わったと思う。広場の見直しや有効活用を求める声も聞く。計画はあるのか。

市長 最近では老朽化にも苦慮しているが、旧医療センターも含む周遊ルートを考える中で再整備等も検討していく。また、広場の位置づけを明確にして、広くアイデア



▲再整備で、活用が出来ないか「みゆき公園プール」

を募ることも一考する。

ワクチン接種について

森田 ワクチン接種は順調に推移しているのか。

健康づくり課長 6月16日現在の65歳以上の1回目接種率が62.5%。全国トップの佐賀県が55%なので嬉野市はそれより上回った接種率であ

る。

森田 基礎疾患をお持ちの方についての対応は。

健康づくり課長 予約の開始時期を一般の人より早め、優先して対応したい。また、全体的な注

庁舎整備方針のスケジュールは

諸井 義人 議員

答 令和7年度末の完成を想定している



ている。

諸井 住民説明はどうするか。

企画政策課長 基本構想の策定が若干遅れているので、8月頃に市民説明会とパブリックコメントを考えている。市民説明については、コミュニティ単位、大字単位にするのか検討している。

諸井 嬉野庁舎周辺の公有地の面積はいくらあるのか。

企画政策課長 現嬉野庁舎と隣接する公会堂などの面積を合わせると1万4500mになる。

諸井 公有地の有効利用のために立体駐車場は考えているか。

市長 検討してはいます。新庁舎に対しては、庁舎だけの機能ではなく、民間や準公共的な団体の入居など複合的な機能を持たせることも考えていきたい。

諸井 塩田庁舎は、地区住民の利便性を考慮し、解体せずに利用することはどうでしょうか。

企画政策課長 構想段階であり、出張所等とし

諸井 今後の計画はどうなっているか。

市長 基本構想、基本計画、基本設計、実施設計と進み、令和6年度後半頃の工事着手を想定し



▲区役で多量の土砂を撤去するクレーン作業



災

害防止に砂防堰堤を

えんてい

芦塚典子議員

答 現地の状況を確認したい

【芦塚】 宮ノ元地区や下

童地区の比較的小規模の
渓流で、大雨の時は土砂
が多量に流れ出て危険な
区域がある。災害防止策
として砂防堰堤を県に申
し入れできないか。

【建設・農林整備課長】

現地の状況を確認し、土
木事務所・農林事務所と
相談し事業を模索したい。

【芦塚】 八幡川の泥土

は、年々堆積している。
今年度は浚渫できないか。

【建設・農林整備課長】

合流部は泥土が堆積しや
すいので、土木事務所に
申し入れる。

【芦塚】 水害対策の一環

として、茶畑の荒廃地に、
農水省の「みどりの食料
システム戦略」推奨の成
長の早い「エリートツリー」
の植林はできないか。

【市長】 地域の現状も聞
き、植樹も考えたい。

【大量解雇ではないか】

【芦塚】 「子ども学校塾」
が今年度はなくなつた
が、約30名の支援員に解
雇の事前通告はしたか。

【教育総務課長】

直接雇
用関係ではないので、解
雇通知はしていない。

【芦塚】 教育委員会の任

命書により採用されてい
るので、法律上において
も解雇通告は必要ではな
いか。

【教育長】 任命書は一定

の証書で雇用関係はな
い。

【芦塚】 「子ども学校塾」

の支援員は任命書をもら
い、6年間で子どもたち
の成績も上がっているが
事前解雇通告もなく突然
事業が終了している。事
前説明もないがなぜか。

【教育長】 「子ども学校

塾」は意義があるが、一
定の課題もあり、新型コ
ロナ感染症対策に主力を
置いた。失業対策等に
なっている方が全てでは
ない。

【芦塚】 「女性の輝ける
まち嬉野市、女性活躍の
まち嬉野市」と新聞紙上
でも自らの市政をうたっ
ているが、この言葉は大
量解雇された方々には、
響くのか。

【市長】 雇用契約もない

のに大量解雇という事実
誤認に基づいた発言は、
市民に誤解を与える。事
業の推進にも弊害になる。
説明をよく聞いて、正し
く理解したうえで再度質
問していただきたい。



▲様々な意見も取り入れてほしい塩田庁舎

か今のところ言えない。
塩田地区の皆様からどの
ような機能を求めている
のか、今後お聞きしな
がら、利便性の向上に努
めていきたい。

【諸井】 文教・子育ての
ゾーンニングとはどうい
うことか。

【企画政策課長】

最近、
塩田地区は住宅を構える
若年層の世帯が増えてい
る。子育てをしやすいま
ちづくりをこの塩田庁舎
を核として進めていく。

【市長】 塩田地区は、農
業集落排水等住環境も充
実している。人口が増え
ていくエリアになると
思っている。子どもと高
齢者が一緒に楽しんだり
しながら、幸せ感を醸成
していくような拠点とし
て今後活用できれば、住
民満足度も向上していく
のではと考えている。

開業イベントに「流れ星新幹線」を

川内聖一議員

答 感動を共有できるイベントを考えている



川内 来年の秋に西九州新幹線は暫定開業するが、駅周辺の整備は、開業までに完了するのか。

市長 補助対象事業ベースで80%の進捗で、施設等も含め新幹線開業に合わせてオープンできるように進めている。

建設部長 民間の開発事業は段階的に事業を行うので、一部については間に合わない可能性もあるが、完了するように協議をしていく。

川内 民間での開発事業の部分で、市内の事業者に整備を委託できるよ

うに要望はできないか。

建設部長 できるだけ市内の事業者を活用して頂くように協議を行う。

川内 駅周辺の塩田川沿いの緑地帯に桜の樹木等の整備はできないか。

新幹線・まちづくり課長 検討し沿うような形で施行したい。

川内 独自のディスプレイネーションキャンペーンで市民を交えてのイベントを考えているか。

新幹線・まちづくり課長 コロナ禍の影響で、これまでイベントが中止になってきた。開業前の機運醸成として開業1年前のイベントを計画している。

川内 今年、九州新幹線の10周年記念で、JR

コロナ禍で経済対策を急げ

山下 芳郎 議員

答 その時期を図っている



山下 県内での感染が減ってきている今、地域内の経済対策の考えは。

市長 幅広く意見を聞き、その時期を図っている。佐賀県及び近隣

の市町で経済対策が講じられている。循環の相乗効果で今がその時期と思う。財源は財調を含め如何か。

市長 まだそのタイミングでないとの声も多く2022年の秋まで突き進んでいけるよう確信を持った時にこそ勝負の仕掛け時と想っており、それまで事業支援を行う。

山下 コロナ禍での子どものヤングケアラ対策はできているか。

教育長 本市では該当者はいないが、今後福祉課とも連携し、対応する。

SDGsの推進計画は

山下 推進計画を聞く。

市長 まちづくりを考えた時にいくつかに絞り込む必要がある。女性活躍を推進するので女子野球、また、バリアフリー観

山下 環境未来都市構想に女子野球や本市の特徴のバリアフリーツアーセンターを推薦できないか。

市長 入浴介助・女性活躍等誇れる取組みであり、関係者と協力し、進

める。

市民の要望書等に回答を

山下 区長会、諸団体の要望書の回答がないと聞くがどうしているのか。

総務・防災課長 総務・防災課で集約していて部署ごとに情報の共有を図っている。回答すべきと思うがすべてにはできない。

山下 データ化し、管理することの考えはないか。

総務・防災課長 どこかで集約すれば整理できると思うが、相当の数で

難しい。

山下 議会の一般質問の回答で大村市は「検討する」の対応で市民に

ホームページで公開しているが、前市長は透明化の流れで議会を通せば勉強するとの答弁をどう思うか。

副市長 議員の通信簿みたいになり、取り上げることがどうかと思う。

市長 市民への公開は厳しいが、議員とのコミュニケーションで、政策に反映した時でもできない時も伝えたい。



▲活気を取り戻せ嬉野温泉！

九州は「流れ星新幹線」を走らせたが、開業時のイベントで走らせる要望をJR九州にできないか。

市長 同じとはいかないが、感動を共有できるイベントの構想があり、現在、進めている。

新型コロナウイルス感染症関連について

川内 市長、副市長及び教育長のワクチン接種を優先して行なう協議はされたか。

市長 私以外は、65歳以上で接種できるが、私は、しかるべき順番で接種したい。市民から先に接種して貰いたい。

川内 現在コロナ禍の長期化で、市内の経済は疲弊している。市全体に経済支援対策を考えられているか。

市長 スピード感を持って対応したい。臨時議会の開催も視野に入れて迅速に経済的な復興ができる施策を行いたい。



▲九州新幹線開業10周年記念で走った「流れ星新幹線」



山口 水利点検、ホース接続訓練等の消防訓練は非常に重要で、また消防団は地域コミュニティの基礎と考える。確実に維持できるように、消防団の負担を削るなどして活動しやすいものにするべきではないか。

総務・防災課長 果たさなければいけない役割というものを勘案した上で、団、団員の意見を聞きながら検討を進め、団員の報酬や処遇についても真剣に協議していかなければと考えている。

公共交通について

山口 武雄市が4月から予約型乗合タクシー事業を始められた。将来的にはこういった予約型の乗合タクシーが重要になってくると感じている。近くに先進地があるので、情報を確認し研究

時代に合った消防団活動を検討すべき

山口卓也議員

答 真剣に協議して頂く

してはどうか。
市長 今、新幹線の駅前で自動運転の検討を行っている。新幹線開業で、こちらでの交通手段を持たないお客さんが来る事情があるので、観光客と地域生活の移動手段を組み合わせて交通体系に組み入れていく視点も重要と思う。

経済対策について

山口 新型コロナウイルス感染症の経済的影響が長期化しているが、国の事業を補完したり肉付けするような視点(例えば、国の住宅確保給付金の資産要件に該当しない方への対策や、緊急小口資金を返済される方への生活再建応援金の支給など)を持って市民生活を支える施策を考えてはどうか。
市長 困窮の要因や度

合など一律の対応では難しいところがある。現実問題としてあるので、相談窓口を設け、皆さんに寄り添う施策を加速していく必要がある。雇用調整助成金が切れてくるところも出てくると思うがこれらが正念場だと理解している。



▲持続可能な消防団活動を目指して



企業誘致適地調査の結果は どうなったか

辻浩一 議員

答 候補地を選定するところまで来ている

辻 企業誘致の用地についての選定を行ってから、長期にわたって変化がない。

現状についての地元説明会をすべきだと訴えてきたが、令和2年度に市内全域の適地調査を行うとの答弁だった。結果がどうなったのか。

市長 交通アクセスやインフラ整備状況、地形、地質、法的要件など各種評価指数を選定し、数か所の候補地を選定している。3月末に結果が出たのでこれから分析作業、製造業者等のヒヤリング等々ができていないので、最終的な調査結果を受けての方針決定となる。

辻 吉田地区と久間地区の候補地の取り扱いはどうなるのか。

広報・広聴課長 2地区とも最終候補地として残っている。

辻 最終決定の段階で候補地じゃなくなる可能性もあるのか。

広報・広聴課長 総合的な判断をしたい。

辻 久間の候補地は九州農政局に農振除外の申請中だと思うが、状況はどうなっている。

広報・広聴課長 申請をする準備をしているが、現在止まっている。

辻 地権者に行政からお願いし、理解をいただいている状況で、長期にわたる心配をどう考えているのか。

市長 ご協力をいただきながら、形にできないのは心苦しく感じている。活用を責任もって考えていく中でご理解いただき、活用を責任もって考えていく中でご理解いただきたい。

辻 現下の状況を見ながら判断することだが、吉田地区と久間地区の用地については、早く判断し誠意を持った判断と説明をすべきではないか。



▲結果を急げ

広報・広聴課長 できるだけ早く方針を決定して、その後のことをきちんと考えていきたい。

市長 発言のとおりである。

農政「みどりの食料システム戦略」をどう活用されるのか

山口 虎太郎 議員

答 ドローンの活用でスマート農業の取組みを進めている



山口 2050年までに科学農業使用量半減・化学肥料3割減・有機農業を全農地の25%100万畝に拡大する方針。その中で茶業対策において有機栽培への切替えに反当り10万円の4年間対策されGAPやJAS認証取得が求められるが、市の農業政策の方針は。

茶業振興課長 GAP取得は南部釜炒茶業組合で取られている。

市長 将来的にはこうした農業じゃないと国内でも出荷できなくなる現実を農家の皆さんにも知って頂く必要がある。

山口 これからの農業は、消費者の皆さんも安心・安全なお茶や食料の求め方が通常化していく。行政・茶商・生産者団体等の協議会の場を組織し、生産から販路まで協議できるような組織できないか。

市長 支援制度や補助の中での要件に組入れて政策を回していきたい。

山口 釜炒り茶を市は今後どのように育成・存続させるのか。

茶業振興課長 高齢化や後継者不足から、改善できる施策、特効薬がなかなかない。有機栽培に



高齢者保健福祉計画書の周知は どうする

諸上 栄大 議員

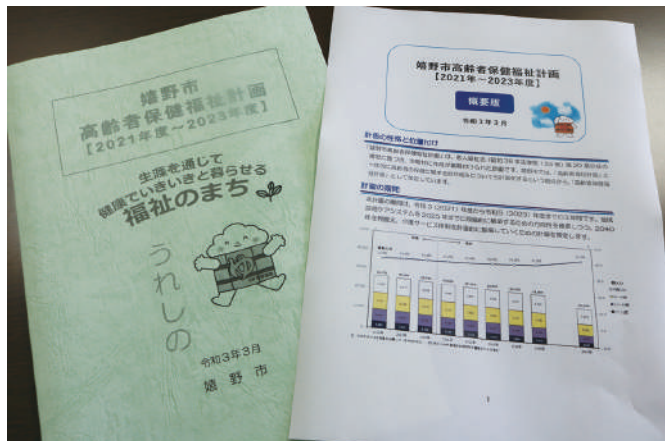
答 郵送にて行い周知を図る

る。今回、特に高齢者等

の援護が必要という事から計画に盛り込んだ。

【諸上】 今後、高齢者以外でも例えば、障がい者等の避難行動要支援者に該当される方々も、各々の個別計画書には避難支援の推進という観点で文言を入れ込むべきと考え

【諸上】 令和3年3月に新しく高齢者保健福祉計画が策定され、重点テーマに新しく「避難行動要支援者への避難支援の推進」が盛り込まれたがその背景は、
福祉課長 ここ数年、全国的に水害や地震などかなりの災害が起きてい



▲福祉施策の更なる充実を

るが。

市民福祉部長 このような計画の中に「避難行動要支援者への避難支援の推進」という部分は重要と考えるため、今後計画の方に反映していく。

【諸上】 計画書の中で、権利擁護及び虐待に関する相談件数が伸びている背景は、

福祉課長 コロナ禍における高齢者を支える世帯の収入の減や失業、そのストレス。また、本人自身がサービスを受けられず自宅に閉じこもっているストレスに対しての虐待等の事案であると思われる。

【諸上】 地域包括支援センターが杵藤地区管内において3か所で展開されている嬉野市は非常に相談しやすい環境だと考え

るが、その評価はどのようになっているのか。

市長 相談件数も非常に多く、それにより課題発見ができ、きめ細かな支援が出来ている。高齢化が進行する中、包括体制は市民の身近な相談相手として存在感を発揮していくものと思う。人の力やつながりの中で課題解決を図っていく、行政サービスを近いところで展開、維持できるようにしたい。

【諸上】 この計画書の内容を老人会や各福祉事業者に対し周知が必要と考えるが対応は、
福祉課長 新型コロナウイルスの影響により会議が中止になっているので、郵送にてこれから送るよう対応していく。

ついでには検討したい。
市長 消費者の方に有機栽培に取組むストーリーも含めて綿密な計画を立て、じっくり時間をかける事も肝要かと考える。

扱われ、補助金交付申請も済ませた。
建設部長 事業者が決定次第、協議を進め、議会にも市民皆様にもできるだけオープンに報告をしたい。

山口 医療センター跡地について

山口 医療センター跡地活用を、国土交通省事業に応募した。その後の進捗状況は。

大野原地区産業廃棄物埋立地について
山口 地区住民と利活用の話し合いは行なわれたか。

新幹線・まちづくり課長 全国から30件応募中20件採択された。嬉野市も採

環境下水道課長 地区住民との話し合いは行なっていない。



2050年度までに…

- ・化学農薬の使用量半減
- ・有機農業を全農地の25%（100万畝）に拡大
- ・化学肥料の使用量3割減
- ・化学燃料不使用の園芸施設に移行
- ・事業系食品ロスを2000年度比で半減（2030年度まで）

▲農業の未来は有機農業へ進むのか

オ

リンピックのホスト タウンとしての受け 入れ予定は

山口忠孝 議員

答 詳細な日程は公になっていない



リンピックの入場券は、

文化・スポーツ振興課長
40枚を予定しているが、観客の人数制限や無観客になるのが流動的なので、今後対応していきたい。

高齢者に福祉タクシーを

山口 嬉野市はオランダの空手選手4人を受け入れる予定だが、日程は分かっているのか。

文化・スポーツ振興課長
来られるなら7月のオリンピック前の1週間程度で、詳細な日程はまだ公になっていない。

山口 パブリックビューイングは予定しているのか。

文化・スポーツ振興課長
女子ラグビーの7人制の試合をリバイで実施する準備を進めているが、現状では流動的である。

山口 抽選で当たるオ

今 後、嬉野市立図書館のあり方は

増田 朝子 議員

答 しっかり検討していきたい



増田 市政における嬉野市立図書館の位置づけは。

市長 憩いの場、楽しむ場としての教養を深める場、文化を活動する場としての機能がある。

教育長 市民の教育、文化の交流拠点である。

増田 嬉野市は平成20年に「嬉野市子どもの読書活動推進計画」を策定しているが、ホームページに掲載しているか。

教育総務課長 掲載していません。

増田 また、その後、計画の見直しが必要か。

教育長 これまで市立図書館協議会の中で見直しをしてきたが、計画書の見直しをする時期と思う。

増田 現在の司書は、会計年度任用職員（月17日勤務）であるが、司書の正規職員が必要か。

市長 図書館が次のステップに進んでいく上で重要だと思うので、前向きに検討したい。

増田 嬉野市には2つの図書館があるが、統合の考えはないか。

市長 拠点は小さく、それぞれの地域特性に合ったものと思うが、市民の考えも併せて、今後、しっかり検討していく。

総務・防災課長 市報、ホームページへの掲載、



▲市民サービスの充実を！

パブリックコメントの充実を！

増田 パブリックコメントとは、どういう制度か。

総務・防災課長 政策的な案件や条例など政策決定手続きの手順の一つとして、意見公募をする制度である。

増田 パブリックコメントの公表はどのようにするのか。

総務・防災課長 市報、ホームページへの掲載、

嬉野庁舎、塩田庁舎での配置をしている。

増田 伊万里市では、図書館、コミュニティセンター（13か所）で計画案が設置されているが、庁舎のあり方に関するパブリックコメントはどうするのか。

企画政策課長 伊万里市を参考にパブリックコメントの周知を図りたい。



庁舎問題はもう少し、時間をかけては

山口 塩田地区の反対する皆さんと膝を突き合わせてもう少し時間をかけて話し合う必要があるのでは。

市長 この事業は嬉野市発展のためであり、基本構想をたたき台として理解してもらおうよう誠心誠意、言葉を尽くしたい。

『自治体まちづくり3・0』の実践を

山口 今後の市政運営に大変参考になると考えるが。

市長 自治体職員向け



▲嬉野を駆け抜けた聖火リレー

の雑誌等で承知している。

SDGsで地球温暖化は防げるのか

山口 経済活動が地球に悪影響を与えているので、経済成長を見直すべきである。

市長 経済成長を止める、とは考えられない。人類は進歩するものである。

観光戦略統括とは

山口 何をするのか。

市長 新幹線開業に向け、国土交通省観光庁から統括監を招聘し観光事業に取り組む。



梶原 温暖化による自然災害は身近なものとなっており、環境施策の推進は待ったなしだ。第2次嬉野市環境基本計画の実施状況は。

市長 計画年度を2027年度に定め、生活環境の保全と持続可能な利用、低炭素社会、循環型社会の3本の柱として展開していく。

梶原 温暖化に特化した計画を策定すべきでは。

建設部長 来年度、第2次嬉野市環境基本計画の中間見直しを行いそのなかで検討する。

梶原 温暖化対策の具体的取り組みは。

環境下水道課長 ごみの再生利用と減量化に努める。

梶原 学校現場でのごみ減量対策は。

学校教育課長 分別の推進、印刷物の両面印刷

第2次嬉野市環境基本計画の実施状況は

答 3本の柱に従い、展開している

梶原睦也議員

や裏面の活用、古新聞を
書写や工作で活用、ペーパーレスの徹底、職員個人のごみ持ち帰り、生ごみの再利用等を行っている。

梶原 ごみ減量の知識を持った方を活用する「ごみアドバイザー制度」の導入は考えられないか。

環境下水道課長 他市町の動向を注視し検討する。

梶原 環境省では近年のスプレー缶事故発生を受け、「スプレー缶等の穴あけはしないほうが望ましい」との通達を自治体あてに出している。穴あけは不要にすべきでは。

建設部長 安全性の確認が取れば穴あけ不要の対応も検討する。

梶原 学校におけるコロナ禍での熱中症対策は。

教育長 暑さ指数測定器の設置や熱中症予防カード、傘さし登下校など。



▲温暖化対策は待ったなし！

梶原 子供たちの熱中症対策のためにクールスカーフやクールタオルの配布をしてはどうか。

市長 非常に有効ではないか。学校でのニーズ等も把握したうえで考える。

教育長 導入に当たってはもう少し研究したい。

福祉タクシーについて

梶原 障がい者の移動手段である福祉タクシーへの助成金が他団体と比べ低額である。助成額を増額すべきでは。

市民福祉部長 近隣市町の状況と財政面も考慮しながら検討する。



越境EC(イーコマース) 戦略について

宮崎良平議員

答 積極的に情報収集をしてチャレンジしていきたい

宮崎 越境EC、要は国外のネットショッピングサイトにおいて、ものやサービスを販売することの可能性について市としてどう捉えているか。

市長 国家戦略としての観光振興というものは、2025年までに6000万人の外国人観光客の目標を掲げており、コロナ禍においても撤回することはないと聞いている。インバウンド観光で来訪し、食し体験する。そして自国に戻り、また購入するという仕組みかと考えると、越境ECとインバウンドの観光戦略はセットで考えていくべきだろうと思っています。

宮崎 我が市が現在つながりのある台湾、タイ、シンガポール等の現地のモールサイトに市が窓口

になって出店ができないか。これにより茶、農産物もきつちりと残留農薬基準値の明確化もでき、厳選した商品に付加価値をつけて売っていくということも考えられ、今後の農業政策において形が見えてくると思うが。

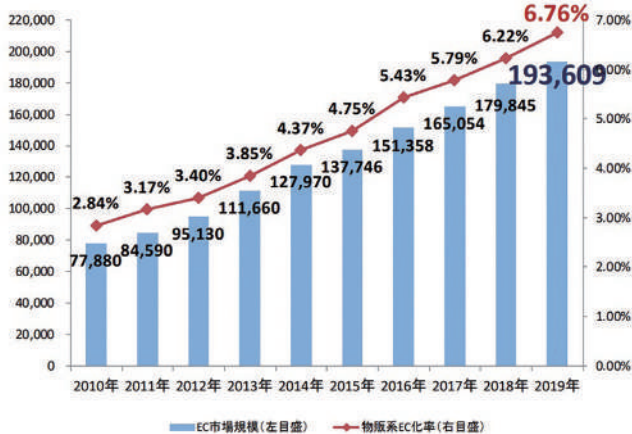
市長 インバウンド戦略の対象国でもあり、つてをたどって取り組みたいと思う。

公有地の更なる有効活用について

宮崎 チャオシルの維持、轟公園の再整備等想定した場合、チャオシルを拠点とした、轟公園内及び不動山、上岩屋にお茶を楽しめるグランピング施設等、地域全体で新たな魅力を伝える茶のゾーンとして考えられないか。

市長 特に都市部から

BtoC-ECの市場規模および物販系EC化率の経年推移(単位:億円)



▲年々増加するEコマース

の誘客が見込める魅力的な提案であり選択肢として排除するものではないと思っています。都市公園の利用の中でも、Park-PFや、官民連携の新しい形態も勉強しながら検討していきたい。

宮崎 これまで利用されてこなかった土地、建物

の経済性に着眼した新たな有効活用において、市民及び民間事業者が持つユニークな発想やアイデアを幅広く募集するような提案制度はできないか。

行政経営部長 今後検討していきたい。

請願

知的障害者が安心して暮らせる入所施設を求める政府への意見書の提出について請願書

佐賀市天祐一丁目9番12号

一般社団法人

全国知的障害者施設家族会連合会佐賀県支部

佐賀県知的障害者施設保護者会連合会

会長 西田修

(継続審査とする)

陳情

商品軽自動車に対する軽自動車税課税免除に関する要望書

佐賀市高木瀬西1丁目4・5

佐賀県中古自動車販売協会

佐賀県中古自動車販売商工組合

会長・理事長 田中新二

政 務 活 動 費

(令和2年度分)

令和2年度の政務活動費を報告します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県外への視察研修の自粛要請等が一时的にあり、研究研修費や

調査研究費の支出額が大幅に減額となりました。

貴重な公金を使用する政務活動費ですから議会として、今後も嬉野市発展のため有効な活用ができるよう努力していきます。

支出項目	支出額(円)	利用延べ人数
研究研修費	237,230	2
調査研究費	0	0
資料作成費	0	0
資料購入費	1,231,522	15
広報費	0	0
広聴費	0	0
人件費	0	0
事務所費	0	0
要請・陳情活動費	0	0
会議費	0	0
その他の経費	0	0
合 計	1,468,752	

※公費負担額のみ表示

交付額 3,840,000 円 (24 万円 × 16 名)
返還額 2,371,248 円

	付託事件名	付託委員会名	付託期間
閉会中の 委員会審査 (調査) 付託案件	まちづくりについて	総務企画常任委員会	次期定例会まで
	教育行政について 請願審査	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
	水道事業について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
	各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
	議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
	議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
	議会 ICT 化に関する調査研究	議会 ICT 化に関する特別委員会	調査終了まで
	嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究	嬉野市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

請願・陳情の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文章による請願・陳情の提出があります。提出にあたっては次の事項に注意してください。

- ◆ 請願・陳情は要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ◆ 請願は一人以上の紹介議員が必要です。
- ◆ 紹介議員が付かないときは陳情としてください。
- ◆ 道路等は簡単な地図(略図)を付けてください。
- ◆ 請願・陳情の締切は定例会開会の4日前までです。

事業継続化支援に関する陳情

嬉野市嬉野町大字下宿乙908-1

嬉野温泉商店街協同組合

木原靖弘 他7名

レポート

消防・防災事業について

総務企画常任委員会



▲杵藤地区消防本部での受講

調査目的

嬉野消防署庁舎が新築移転されるにあたり、複雑多様化する災害から市民の安心・安全を守るため、迅速適格に対応できる消防庁舎の在り方と、火災や事故、災害時の対応の一連の流れについて調査を行った。

委員会の意見

新嬉野消防庁舎建設においては、議会の中でも

質疑がなされた新しく建設される消防署敷地が冠水するリスクについて、今回の視察においても委員会から質問がなされた。「敷地の冠水のリスクはないが、消防署周辺が冠水するリスクは考えられる。そのような事態が想定される場合には、あらかじめ事前に消防車両や資機材一式を市と協議して別の安全な場所に移動させておく」との対策を考えられていた。

現在、嬉野消防署には配属されていないが、杵藤広域圏内では2名の女性隊員が救急救命士として活躍されており、新消防庁舎には女性用の仮眠室が設計され女性職員の就業環境が整備され、女性が働きやすい消防署としての変革を感じた。

また、ここ数年続く自然災害が今後も発生すると想定される中で、新型コロナウイルス感染症及びその疑いがある救急要請においては、より緊迫した状況の対応が予測され、現状でさえ防護服着用や車内の徹底消毒がこ

れまで以上に精神的、肉体的に過酷な現場に身を置かれている状況を把握し、命懸けで市民の安心・安全を守っていただく現場の方々を市としてどのようなサポートができる

のか、また、市民にどのような啓発ができるのかを改めて私たちがもっと深く思慮し活動に移していくよう努めなければならぬと感じた。

一般廃棄物について

産業建設常任委員会

調査目的

本市を含む4市5町で構成される佐賀県西部広域環境組合で平成28年1月に設置した一般廃棄物処理施設「さが西部フリーンセンター」に、現在の稼働状況や管理運営の状況、及び周辺への地域振興事業について調査を行った。

ユース・リサイクルの3Rを生活の中に取り入れ、ごみを少しでも減らすことで環境への負担が少ない循環型社会の構築が実現されると考えられる。

本市では、ごみ中継基地で中間処理を行い、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでいるが構成市町によっては分別方法が異なっている。施設に持ち込む前の分別が、ごみ処理量の減少となり施設の長寿命化や災害時のごみ受け入れに対する懸念等の払拭に繋がるのではと考える。

委員会の意見

計画以上のごみ搬入により発生する課題の説明を受けたが、住民一人ひとりがリデュース・リ

「構成市町のごみの分

委員会

児童発達支援のあり方について

文教福祉常任委員会



▲多久市にある発達障害者支援センター「蒼空～SORA～」での受講

調査目的

発達障がいという言葉をよく耳にするようになった。以前から様々な形で存在していたと思われるが、就学前の診断が進み早期に発見、報告がなされるようになったことも一因である。この現

委員会の意見

発達障がいは外見からは判りにくく、症状や困りごとは十人十色である。「困った行動」など

状態を踏まえ、発達障がいについて理解を深め、児童発達支援のあり方について調査を行った。

と捉えられがちだが、特性に合った学びの機会を用意することで優れたところを伸ばすことができる。子どもの個性や能力・希望などを理解した上で、その子に合ったサポートをしていく環境を整備するためには、専門分野の人材確保が必要である。そのためには、専門家を広域で有効活用する仕組みや当事者・関係者に不安を感じさせない施策が必要である。特に行政に携わる職員等の研修機会を増やすことを望む。

また、発達支援に関わる人だけではなく、一般社会の理解を広めることが重要なため、その醸成に行政としても積極的に取り組んでもらいたい。

別方法の統一を図れば、搬入ごみの減量化が実現できるのではないかと委員会から提案したところ、「構成市町に対して、統一化についての提案を行った経緯はあるが、協議まで至っていない。4市5町の共同処分場という観点から、すでに分別を実施している市町の首長からごみ処理量の減少に向けた分別の統一化の意見を提案していただければ、組合全体の検討課題となるのではないかと」との組合事務局の

回答だった。

一般廃棄物の処理に対しては構成市町間で考え方が異なっている。共同処理場であることを再認識し、施設の長寿命化を深く考えて運営を行わないと、これまで以上の維持管理費が構成市町の住民にさらに大きな負担となってくる。4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合においては、ごみ減量化に向けて、今後慎重な話し合いが必要になってくると考える。



▲さが西部クリーンセンターでの受講

ときの人



嬉野高校3年

林 翔夢^{しょうま}さん 田原 希美^{のぞみ}さん

「第10回佐賀県高校生介護技術コンテスト」で県内の7校がエントリーするなか、最優秀賞に輝いた嬉野高校3年の田原 希美（のぞみ）さんと林 翔夢（しょうま）さんにお話を伺いました。

問：最優秀賞受賞、おめでとごうございます。

初めに、嬉野高校を志望された理由をお聞かせください。

田原さん・林さん：将来は福祉関係や医療関係で働きたいと思っていたので、福祉系列がある嬉野高校を選びました。

問：学校での学習と介護実習も経験されていると思いますが、大変ではないですか。

林さん：学習と同時に実習にはレクリエーションも作っています。楽しんでもらえて良かったです。

田原さん：一緒に歌ったり体操やゲームもしますが、利用者の方が喜んでおられるのが私たちにも伝わり、うれしい気持ちになります。

問：コンテストでは、左半身に麻痺があり、ホームに入所する90歳女性の介護を想定して実施されましたが、感想は。

田原さん・林さん：緊張はしましたが、今回の会場が嬉野高校校舎での開催だったので、いつもの感じで臨めたことと、先生方の熱心な指導も受けていたので自信がありました。

問：このあと九州大会に臨みますが、どのように準備されますか。そして意気込みは。

指導の浦郷先生：コロナ禍により、今度の九州大会は、プレゼンテーションなどのデータを送って実施されるので、動画作成などに工夫をしたいと思っています。

田原さん・林さん：今日、全校生徒の前で「大会には、今まで教えてもらったことを生かし、利用者の方一人ひとりに合った介護を目指して頑張り、最優秀を目指します」と表明しました。

問：田原さんと林さんの今後の進路希望は決めていますか。

田原さん：私は社会福祉士を目指しています。

林さん：僕は看護師になりたいと思っています。

取材を終えて…田原さん、林さん共に素晴らしい生徒さんでした。

また、今後の進路についても福祉医療関係に、と明確な目標を持っておられ、頼もしい限りです。そして、次の九州大会には最善を尽くし頑張ってください。



▲佐賀県大会コンテストの様子

コラム

日本の鉄道の歴史が佐賀から始まったと言っても過言ではない▼佐賀の偉人大隈重信侯は明治5年、伊藤博文と共に、日本に初めて新橋横浜間に鉄道を開通させた。その後鉄道は全国に広がり、明治28年には武雄まで開通した▼武雄からは嬉野を通り長崎への計画だったが、当時の佐賀県議会で開通すれば街道筋の商業は不振になると真面目に議論され、地元からも反対されていた▼後悔から約130年が経ち、夢に見た新幹線の駅が嬉野にできる▼武雄から新鳥栖までをフル規格で整備すれば、嬉野に客は降りず素通りすると真面目に話す知事もいるが：▼若し、ここに大隈重信侯が居たならば、どんな思いで佐賀の論争を伺っているだろうか。そう思うのは私だけだろうか…。(聖二)

議会広報編集特別委員会

委員長	森田明彦
副委員長	諸井義人
委員	山口政人
山口忠孝	
川内聖二	
宮崎一徳	
山口卓也	